

## 【国東小売酒販組合理事長賞】

### 税金と生活

国東市立安岐中学校 三年 伊藤 聖菜

私たちの生活の中で税金はかせないものです。税金がなくなると私たちの生活はとても苦しいものになります。たとえば、年金は私たちの税金から出されています。もし年金がなくなればお年よりの人たちは死ぬまで働かないといけません。災害の時もそうです。自然災害はいつ起こるか分かりません。もし地震などがあり道路がくずれたりしていても税金がなければ工事をすることができません。

いつも普通に学校に通っています。それも税金のおかげです。私たちの暮らし・生活はほとんどが税金でできています。

私は自分の生活の中でどこに税金が使われているのかを考えてみました。まず、朝ごはんです。材料を買ったりするのに消費税という税金がかかっています。そして学校での授業です。学校などの教育施設の建設や、机、椅子・教科書にも税金が使われています。次に私はサッカーをしているので練習場に行くまでにバスに乗ります。そこでも安全に自動車や人々が暮らすための道路や信号などにも税金が使われています。サッカーをする練習場にも税金がかかっています。最後に安全な夜、日々の安全を守る警察や消防も税金がなくては成り立ちません。日々の生活の中でも

税金はあらゆる所で使われています。

しかし税金には3つの分類方法があります。

一つ目は、「どこに納めるか」による分類です。おもに国税と地方税で税は国に納める国税と都道府県や市町村といった地方公共団体に納める地方税などがあります。

二つ目は「何に対して課税するか」による分類です。おもに所得課税や消費課税・資産課税で税は何を対象にどれくらいの税をかけるか、その対象ごとに分けられます。

三つ目は「納め方」による分類です。おもに直接税と間接税で直接税は所得税や法人税のように、税を負担する人が直接国や地方公共団体に納める税です。間接税は、消費税や酒税のように実質的に税を負担する人とそれを納める人が異なる税です。このように税には視点の違いから「どこに納めるか」「何に対して課税するか」「納め方」の3通りの分類方法があります。

私たちの暮らしには色々な所で税金に助けられています。税金は何のためにあるのか、何のためにはらうのかを考えて自分たちのこれからの未来、将来のためにも理解していくことが大切だと思います。